

令和7年度 部活動の地域クラブ移行について

2025年1月
千葉市教育委員会事務局
保健体育課

1

1

はじめに 部活動の地域連携・地域移行とは

令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する
総合的なガイドライン【概要】

（抜粋）令和4年12月27日（水）
千葉市教育委員会第10回定例会（第10回）第12号議案（第10号）

〇 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。

〇 令和4年度に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化芸術活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。

〇 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能な多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※Ⅰは中学校を主たる対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校のみに適用。

Ⅰ 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

（主な内容）

- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・部活動指導員や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

Ⅱ 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

（主な内容）

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向に選したプログラムの確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・困難家庭への支援

Ⅲ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

（主な内容）

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
- ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むこと、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

Ⅳ 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

（主な内容）

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
- ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・できるだけ教師が引率しない体制の整備。運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

・少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。

・まずは休日から

・令和5年度から7年度までの3年間を改革推進期間として

～略～ 可能な限り早期の（地域移行の）実現を図る。

大会等の在り方の見直し

・大会の在り方の見直し

→中体連が令和9年度から一部競技の全国大会を中止

2

2

Ⅰ．部活動の地域移行の背景・目的

生徒の多様な活動場所の確保

少子化による生徒数の減少による部活動の規模縮小、廃部も増加傾向。

生徒数はピーク時の半分。今後も減少傾向は続く。

部活動の規模も生徒数の減少にあわせて縮小傾向。集団競技ではその傾向が顕著。

近年、部活動の廃部が増加傾向。学校間格差も大きくなっている。

教員の負担軽減

教員の負担感が重い部活動の改革が求められている。必ずしも教員が担う必要のない業務

部活動の指導を負担と感じる教員数は、増加傾向。

外部指導者・部活動指導員の制度を導入し、一定の効果を上げているが、限定的な範囲

教員数の減少に加え、核家族・子育て、介護など様々な環境要因。価値観の多様化。

【部活動数の推移（全国・千葉県）】

中体連調査結果	H25			R5			減少率
	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
千葉県	4,819	2,564	2,255	4,317	2,300	2,017	10.41%
全国	117,431	61,579	55,852	107,704	57,896	49,808	8.28%

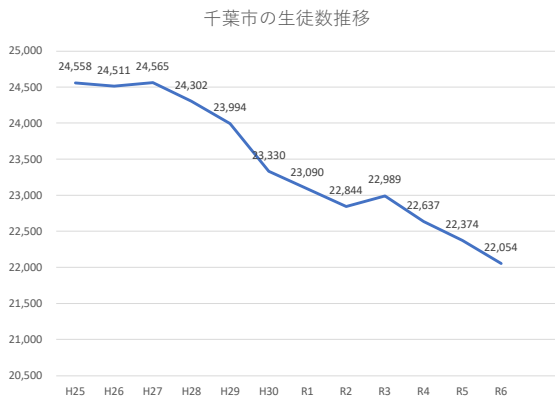
3

3

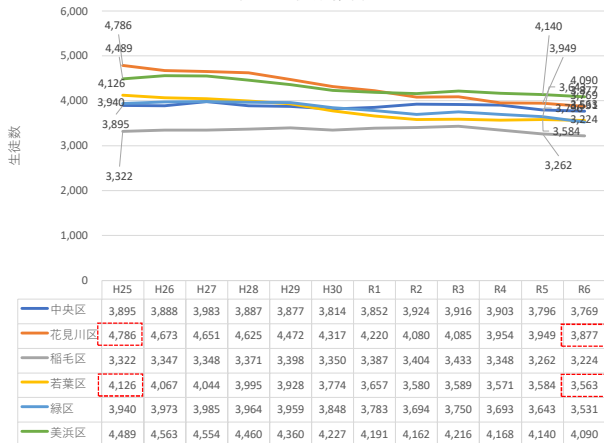
Ⅰ．部活動の地域移行の背景・目的（生徒数の推移）

千葉県教育委員会 900

千葉市の生徒数推移



区別生徒数推計



- ・ H25年度24,558人と比較すると、R6年度は22,054人と、**2,500人減**。減少傾向は続く。
- ・ すべての区で生徒数は減少。特に花見川区（▲909人）、若葉区（▲563）の減少が大きい。
- ・ 中学校の生徒は、ピーク時の45,260人（S61）と比較し、**半減**。**2万人以上減少**している。

4

4

Ⅰ. 部活動の地域移行の背景・目的（部活動規模の推移）

手帳 900

総合体育大会終了後の平均部員数（1－2年生）の推移

	H27	R5	R6
陸上	32	27	26
水泳	17	7	8
体操	22	0	0
新体操	15	6	6
野球	16	12	14
サッカー	27	20	21
バスケットボール（男）	19	20	18
バスケットボール（女）	16	15	16
バレーボール（男）	18	17	18
バレーボール（女）	20	17	18
卓球	29	26	26
ソフトテニス	34	25	26
ソフトボール	12	8	9
バドミントン	38	31	29
ハンドボール（男）	17	16	15
ハンドボール（女）	13	12	11
柔道	10	10	10
剣道	15	13	12

部活動規模は縮小傾向にあります。
また、部員ではあるが土日はクラブ
チームなど学校外の活動に参加して
いるなど、様々な理由で、休日の活
動には参加していない生徒も多くい
ます。

単位：人

5

5

Ⅰ. 部活動の地域移行の背景・目的（学校ごとの部活動数）

手帳 900

部活の設置状況には、学校により大きな差がある。

部活設置数	最大	最小	中央値	平均
男子	12	2	6	5.98
女子	10	2	6	5.75

中体連部活でも、設置率に大きな差

部活	部活数	合計部員数	部活が無い場合は・・・
相撲	0	2	特設部活で参加
水泳	2	35	特設部活やスイミングクラブで参加
ハンドボール	8	295	
柔道	6	106	特設部活や街道場（4クラブ）で参加

機会格差の発生

今後も学校規模の
小規模化が進行。
部活の
規模縮小→廃部
は避けられない。

格差の拡大

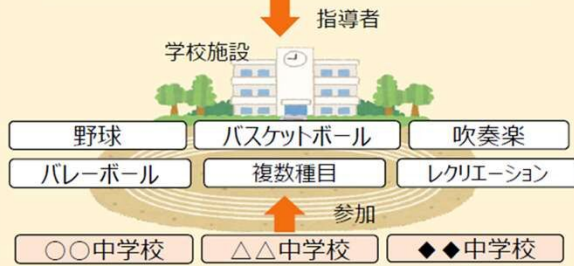
上記データは、運動部についてのものですが、文化部も同様の傾向にあります。

6

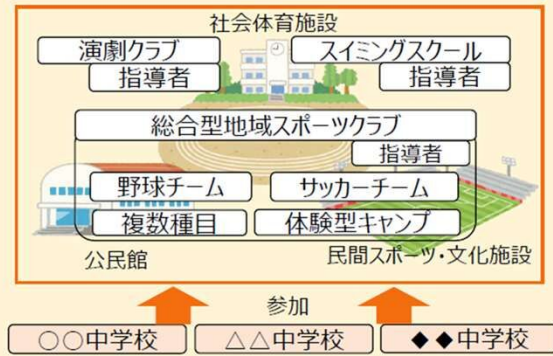
休日の地域クラブ活動

① 地方公共団体が運営団体の場合

市区町村が、スポーツ・文化芸術団体、大学、民間事業者、地域学校協働本部等と連携



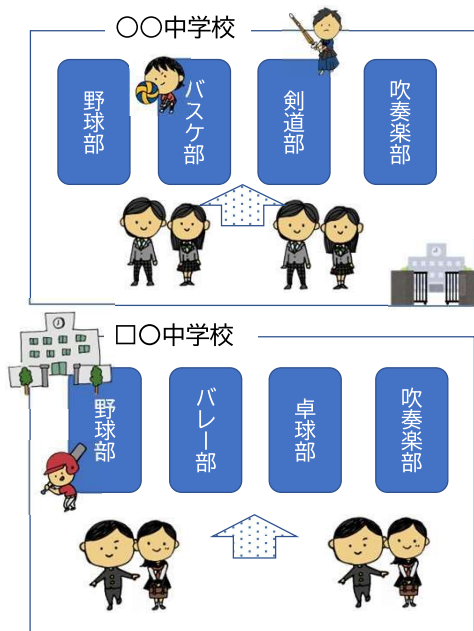
② 多様な組織・団体が運営団体の場合



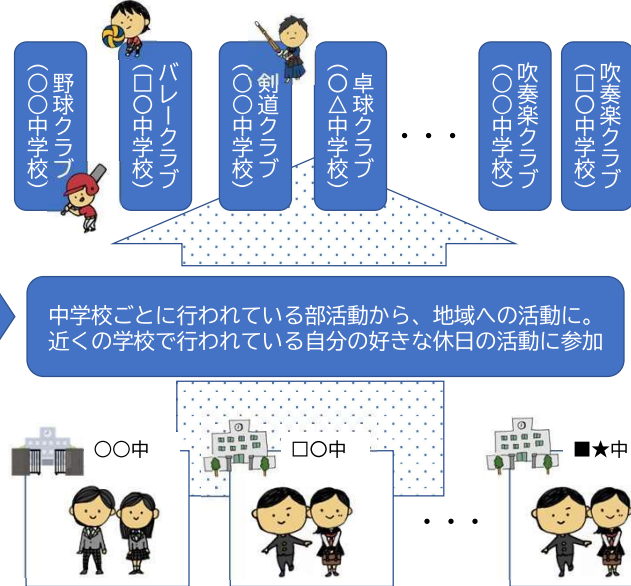
7

7

平日の活動 = 『部活動としての活動』



休日（土・日・祝）の活動 = 『地域クラブとしての活動』



○ は、活動が行われる場所で、主に中学校を想定しています。なお、“地域”クラブであるため、必ずしも、自分の学校で活動ができるとは限りません。

8

2 千葉市における地域移行に関する取り組み

	R 5	R 6	R 7	R8以降
休日の部活動 地域移行活動	・地域移行・地域連携の実証事業「運動部(12)・文化部(3)の15部活」を対象とする実証事業 ・R6実証事業対象校の決定	・地域移行の対象校を拡大し、30拠点(60部活)程度で実証事業を実施	すべての中学校(54校)で、複数部活の実証事業を実施。	休日部活動 完全地域移行

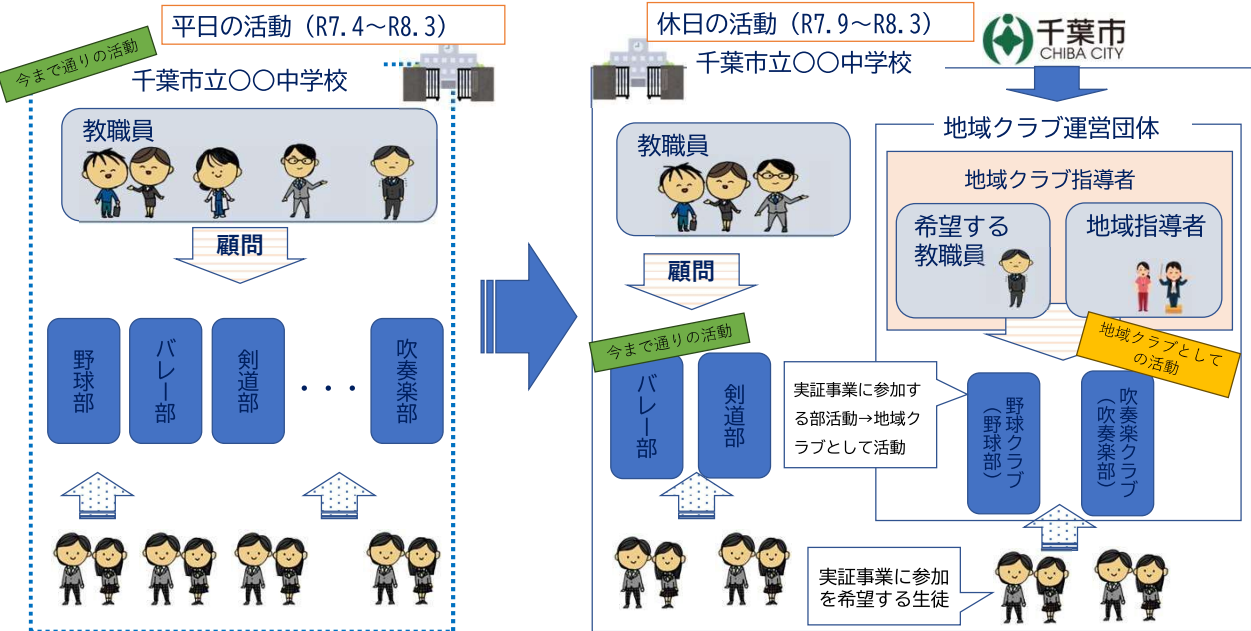
改革推進期間(R5～R7)において、地域クラブ移行の対象部活学校(実証事業対象部活)を段階的に増やし、改革推進期間終了後可能な限り早期に、休日の部活動は全て地域クラブへ移行することを目標とする。

※ 移行時期(地域クラブとしての活動開始)は、総体等の関係から夏以降を想定

部活動の地域移行によって、
全ての中学生に対して通う学校に関わらず
「自分の好きな事を」「自分で決めて」「チャレンジできる」
環境を提供する。

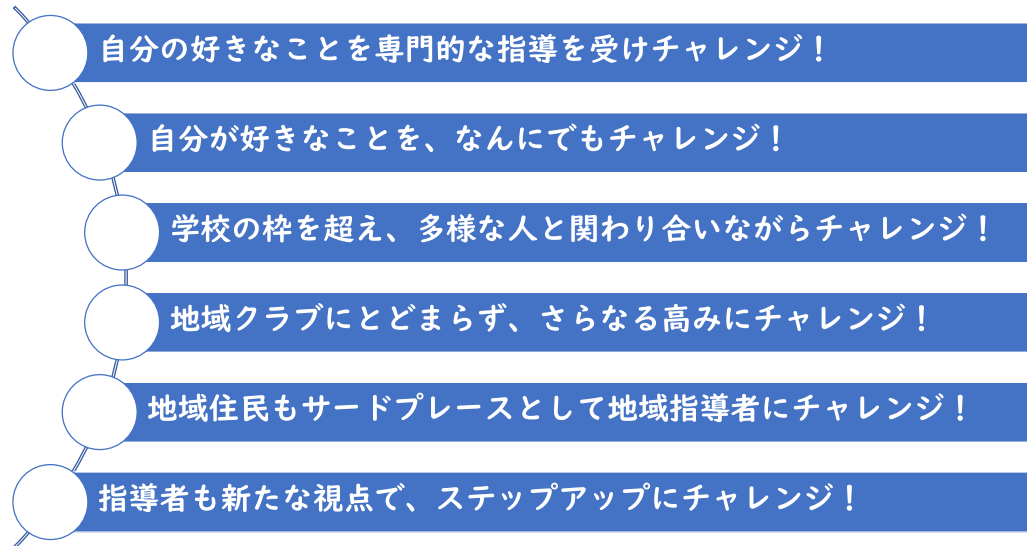
9

2 生徒の地域クラブへの参加イメージ(実証事業参加)



10

地域クラブ移行で目指す将来像（案）



11

令和7年度 緑町中学校

実証事業として、今年の9月頃から令和8年3月末まで、
「地域クラブ」として活動を行う部活動

吹奏楽部

サッカー部（轟町中と合同）

- ① 地域クラブには希望する人が参加します。5月頃、参加希望の調査をします。
- ② 通っている学校で希望する種目の地域クラブが設置されれば、その地域クラブに参加します。
- ③ 自分の学校だけではなく、近くの学校の生徒も同じ地域クラブに参加する場合があります。
※ 部活動は学校ごとの活動ですが、地域クラブでは複数の中学校を含む「地域」での活動となります。
- ④ 部活動と同じ種目の地域クラブに参加することや、違う種目の地域クラブに参加することもできます。ただし、参加できる「地域クラブ」は1つです。

12

12

緑町中学校に希望するクラブが設置されていない場合は、近くの学校のクラブに参加できます。

※まだ、地域クラブへ変わるためのテスト中なので、一部の種目に限ります。

今年 緑町中 から参加できる「地域クラブ」

クラブ名	主な活動場所（変更になることがあります）
水泳クラブ（蘇我中）	蘇我中、千葉国際総合水泳場（新習志野）
新体操クラブ（蘇我中）	蘇我中
ヨットクラブ（磯辺中）	稲毛ヨットハーバー
硬式テニス（打瀬中）	打瀬中、近隣公園

13

13

休日に行われる新人戦、コンクールなどの公式戦について

学校の部活動が出場するので、平日の部活動に参加している人たちが参加します。

部活動の実証事業の参加費について

実証事業では参加費はかかりません。将来的には、受益者負担（参加費）がかかることが想定されます。

指導者について

学校の部活動の顧問とは異なる地域の指導者が指導します。
（一部の地域クラブでは、顧問の先生や部活動指導員が地域の指導者になることがあります。）

緑町中学校 実証事業
吹奏楽部（地域クラブ指導者）
サッカー部（部活動顧問） を予定しています

活動場所について

緑町中学校 実証事業
吹奏楽部（緑町中学校）
サッカー部（緑町中学校・轟町中学校）

14

14

今後のスケジュールと指導者について

休日の指導者

地域移行2年目以降は、通年地域クラブでの活動となります。

	4月～8月	9月～3月
令和7年度（現中1・中2）	部活動顧問	実証事業のみ 地域クラブ指導者 ※一部の地域クラブでは、顧問の先生や部活動指導員が地域の指導者になることがあります。
移行初年度	部活動顧問	地域クラブ指導者 ※一部の地域クラブでは、顧問の先生や部活動指導員が地域の指導者になることがあります。
移行2年目以降	地域クラブ指導者 ※一部の地域クラブでは、顧問の先生や部活動指導員が地域の指導者になることがあります。	

平日の指導者

	4月～8月	9月～3月
令和7年度（現中1・中2）	部活動顧問（部活動指導員）	
移行初年度	//	
移行2年目以降	//	

15

R7.9月～R8.3月 実証事業

生徒の部活動参加状況と部活動の令和7年度の活動状況による「地域クラブ」への参加ケース

	生徒の部活動参加状況	部活動の令和7年度の活動状況	休日地域クラブへの参加等
ケース①	入部している	部は実証事業せず休日に活動がある	A 部活動に参加する B 他校の他種目の「地域クラブ」に参加する
ケース②	入部している	部は休日の活動がない	A 自校の「地域クラブ」に参加する B 他校の「地域クラブ」に参加する C 「地域クラブ」に参加しない
ケース③	入部している	部は休日地域移行の実証事業を行う	A 自校の同種目の「地域クラブ」に参加する B 他校の他種目の「地域クラブ」に参加する C 「地域クラブ」に参加しない
ケース④	入部していない		A 自校の「地域クラブ」に参加する B 他校の「地域クラブ」に参加する C 「地域クラブ」に参加しない

☆『他校の「地域クラブ」に参加する』場合、実証事業につき、一部の種目、一部の区域に限られています。
種目：新体操、水泳、ヨット、硬式テニス

16

よくあるご質問（参考）

Q

いつから地域クラブで活動するの？

令和7年9月～令和8年3月末までで、土曜日または日曜日のどちらかで週一回、合計30回程度を予定しています。

Q

どこで活動するの？

自分の中学校に設置される地域クラブへの参加、または近隣校に設置される地域クラブへの参加となり、活動場所は、原則としてそれぞれの中学校を予定しています。

Q

地域クラブの指導は誰が指導するの？

兼職兼業で指導することを希望する顧問教員、または競技歴・指導歴がある地域人材（社会人・シニア世代・学生等）で、事前にコーチングやハラスメントの研修を受けて、指導者として活動します。

Q

だれと活動するの？

部活動と異なり、複数の学校の部活をもとにして、一つの地域クラブを作る場合があります。そのため、自分の学校の生徒だけでなく、他校の生徒とも一緒に活動する場合があります。

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/tiikiikou/tiikiikoutoha.html>

千葉市の取組みはこちらよりご確認いただけます。

Copyright.

17

17

よくあるご質問

Q

地域クラブは受益者負担と聞いたが？

地域クラブでは、受益者負担も含めて検討しておりますが、7年度の実証事業に参加いただくにあたっては、受益者負担はありません。

Q

大会や演奏会は出られるの？

実証事業期間中に行われる公式の大会（新人戦）は学校部活動で出場します。その他については、大会の参加・出場要件により異なりますが、地域クラブで参加することを原則とします。

Q

平日の部活動はどうなるの？

引き続き部活動として活動します。
部活動の改革推進期間においては、休日（土・日・祝）に行われる活動を、部活動から地域クラブ活動へ移行することを計画しています。

Q

必ず参加する必要があるの？

地域クラブへの参加は任意です。部活動に所属していても地域クラブへ参加しなくても問題ありません。
また、自分の学校にやりたい種目が無い場合は、近隣の学校に設置される種目に参加することができます。

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/tiikiikou/tiikiikoutoha.html>

千葉市の取組みはこちらよりご確認いただけます。

Copyright.

18

18

よくあるご質問

Q

顧問は地域クラブで指導してくれないのか？

部活動を地域クラブへ移行する背景の一つに、教員の負担軽減があげられます。教員が休日にしっかりと休むことができる環境を準備する必要がありますので、顧問が地域クラブでの指導を行わないことがあります。

Q

指導者はどうやって探しているのか？

県が運営している地域クラブ用人材バンクの活用や、学校において地域人材の掘り起こしなどを行っています。なお、市では人材バンクの登録者を増やす取り組み（各種団体や大学との連携）を行っています。

Q

指導者として活動・推薦したいのだが？

学校に相談いただくか、千葉県地域クラブ活動等指導者人材バンク『ちばクラサポ』に登録をお願いします。『ちばクラサポ』に登録した場合は、市または運営事業者から連絡がいきます。

Q

その他の情報はどこにあるの？

千葉市（保健体育課）ホームページに、地域移行に関して公開していますので、ご確認ください。

千葉市 地域移行



<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/tiikiikou/tiikiikoutoha.html>

千葉市の取組みはこちらよりご確認ください。

Copyright.

19